

## ◆今期間のポイント

## ＜主要じょう乱の概要＞

- 21日は、低気圧がオホーツク海へ進み、高気圧が東日本付近へ移動する。前線が華中から東シナ海へのびる。
- 22日は、低気圧が沿海州付近へ進む。高気圧が日本の東へ移動する。前線が日本の南にのびる。
- 23日は、低気圧が千島近海へ進み、気圧の谷が北日本付近を通過する。前線が日本の南を東進する。
- 24日は、高気圧が日本海へ移動する。前線が東シナ海から西日本南岸付近へのび、前線上に低気圧が発生する。
- 25日は、高気圧が日本の東へ移動する。前線が本州南岸付近にのびる。

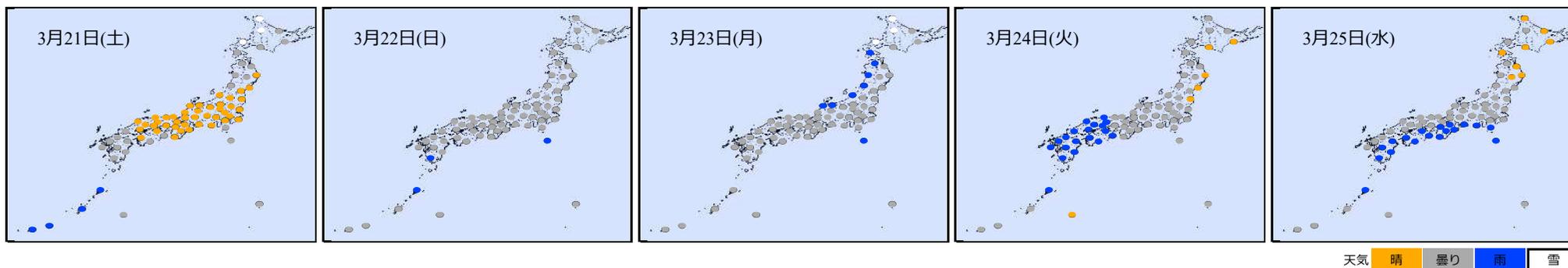
## ＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

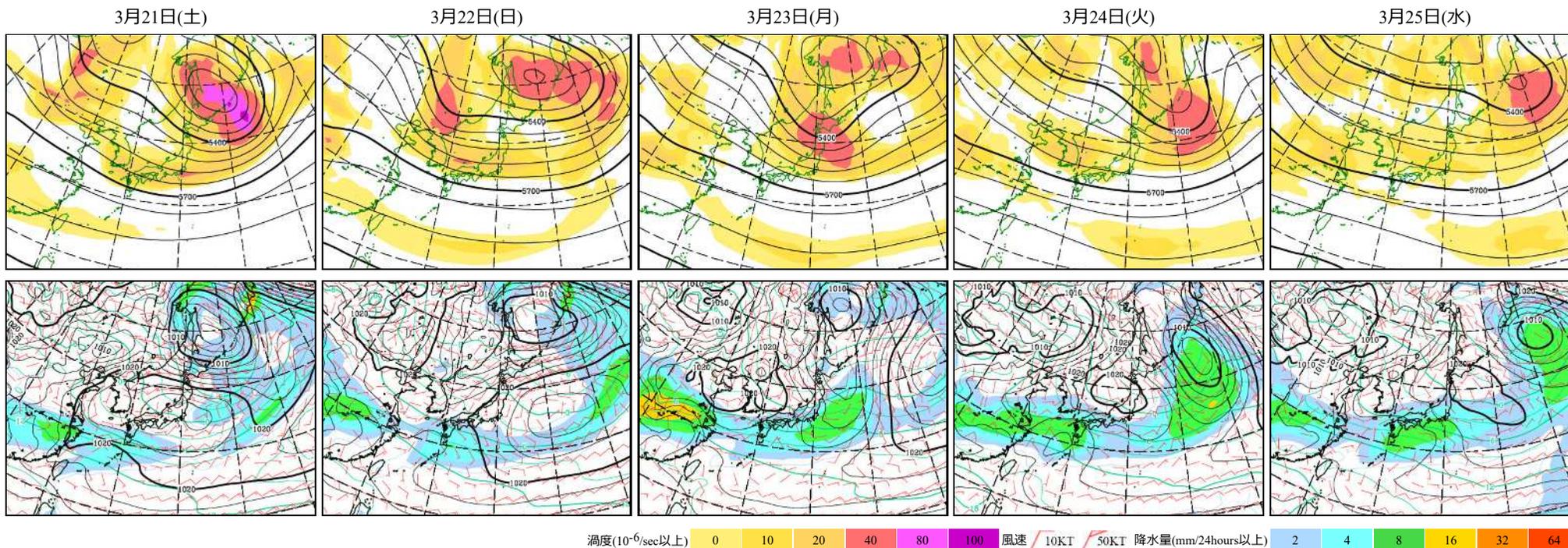
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

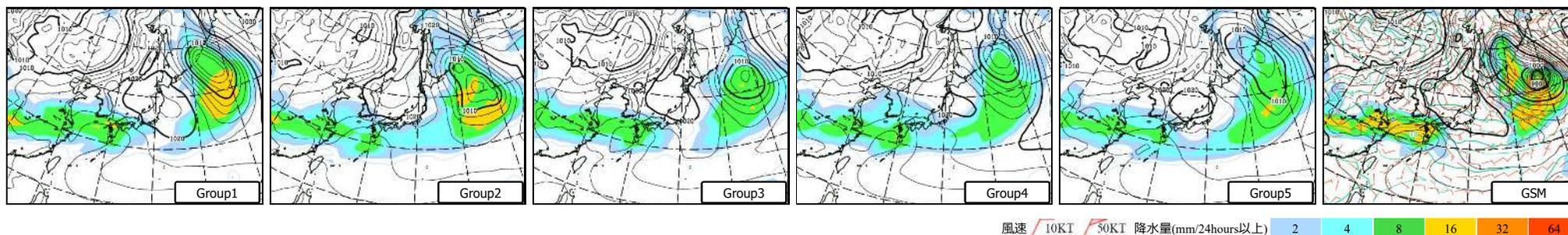


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、晴れる所もある。
- 東日本太平洋側は、21日は晴れる所が多いが、その後は雲が広がりやすく、25日は雨の降る所がある。
- 西日本は、曇りや晴れの日が多いが、24日から25日は雨の降る所が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、21日は雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆3月24日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、24日は九州の西へ進む低気圧が不明瞭となり、西日本付近の降水確率が小さくなった。
- 各モデルとも、24日から25日は低気圧が東シナ海から日本の南へ東進する予想となり、昨日資料に比べるとモデル間の差は小さくなった。
- スプレッドは期間を通して比較的小さい。24日の低気圧の位置は、九州の西または日本の南に予想するメンバーが多いが、日本海西部に予想しているメンバーも見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。